

# ALES DYNAMIC SEALER AQUA

F★★★★  
ホルムアルデヒド放散等級

水性2液高性能多用途エポキシシーラー

## アレスダイナミックシーラーアクア 半透明

部位を選ばずオールマイティーに使える  
環境に優しい水性高性能シーラーです。

幅広い素材適性

幅広い上塗適性

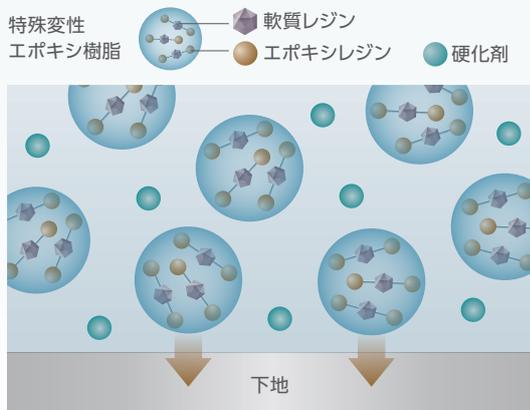
ALES  
DYNAMIC  
SEALER  
AQUA

浸透性

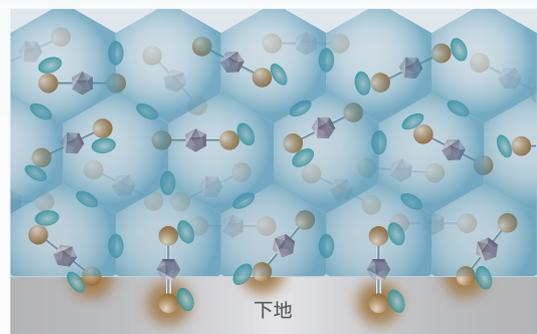
高仕上り性

高性能・多用途を実現したテクノロジー

特殊変性  
エポキシ樹脂



特殊変性エポキシ樹脂が下地に浸透



特殊変性エポキシ樹脂が下地と強固に  
結合し、素材の表面を強化します。

# アレスダイナミックシーラーアクア

## 特長

### ■ 幅広い素材適性

強溶剤と同じエポキシ樹脂が下地と強固に結合し、  
窯業サイディングボード、窯業系屋根、各種上塗など  
幅広く対応可能です。

### ■ 幅広い上塗適性

水性塗料から弱溶剤形塗料(1液/2液)まで幅広い上塗適性があり  
ます。

### ■ 浸透性

特殊変性エポキシ樹脂は下地に対して浸透性が高く、  
素材の表面強化性に優れています。

### ■ 高仕上り性

特殊変性エポキシ樹脂を贅沢に使用しているため表面に均一な  
膜を形成し、上塗塗料の仕上りが向上します。

## 標準塗装仕様

工程	塗料名・処置	希釈率(%)	塗装回数	標準所要量(kg/m <sup>2</sup> /回)*1	塗装方法	標準塗装間隔(23℃)	
1	新設	エフロ・レタンス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去し、乾燥した清浄な面とする。 (ブロックやALCなど吸込みの著しい素材の場合、フィラー処理などが必要)					
	塗替	素地の不具合部に適切な補修を施す。劣化塗膜や脆弱な化粧層、チョーキング層、汚れなどの異物は、 高圧水洗やワイヤーブラシなどを用いて入念に除去し、十分に乾燥させる。					
2	下塗	アレスダイナミックシーラーアクア (ベース/硬化剤=5/1)	上水 0~15	1~2*2	0.13~0.20	ハケ・ローラー エアレス	4時間以上7日以内*3
3	上塗	下記の各種上塗塗料(所要量、塗装回数、塗装間隔、塗装方法などはそれぞれ各塗料の条件に従ってください)*4					

\*1 コンクリート面への標準所要量を記載しています。旧塗膜がリシン面などの粗面の場合は、所要量が大幅に増える場合がありますので、試験施工などで確認してください。アスファルトシングルの場合の所要量は0.2~0.4kg/m<sup>2</sup>です。  
\*2 劣化した吸込みの著しい素材の場合、2回塗りしてください。 \*3 溶剤系塗料を上塗に用いる場合は16時間以上乾燥させてください。 \*4 アスファルトシングルの場合、上塗には「ヤネフラット」をご使用ください。  
\*5 窯業系屋根の1回目の塗替えは、下地の劣化や吸込みが大きいため、下塗に「アレスダイナミックシーラーマイルド(透明)」を使用してください。2回目以降の塗替えで、旧塗膜が比較的健全な場合は、本品も使用できます。

■ 荷姿：15kg(ベース12.5kg、硬化剤2.5kg) ■ 混合比：ベース/硬化剤=5/1 ■ 色：半透明

## 適用下地・旧塗膜

### 【適用下地】

窯業系サイディングボード、窯業系屋根\*1

#### ● 無機系素材

コンクリート・モルタル、スレート板、押出成形板、GRC板、PC板、  
けい酸カルシウム板、石膏ボード

#### ● 有機系素材

硬質塩ビ\*2、FRP板\*2、木部、アスファルトシングル

\*1 無機系樹脂、光触媒処理、フッ素樹脂、シリコン樹脂など特殊な塗料で処理されている場合は適用できません。  
\*2 塗装前に表面荒しが必要です。

### 【適用旧塗膜】

リシン、スタッコ、吹付タイル、アクリル樹脂系塗料、ウレタン樹脂系塗料、エマル  
ジョン塗料 など

\*但し、旧塗膜の付着力0.5N/mm<sup>2</sup>以上(活膜)必要です。

## 上塗可能塗料

### 【水性系】

アレスダイナミックTOP、アレスダイナミックMUKI、水性ゾラコートEX中塗、  
アレスアクアグロス、アレスアクアレタン、アレスアクアシリコンACII、アレス  
シルクウォール、アレスクールプラスウォール水性Si、アレスダイナミックルー  
プアクア、ヤネフラット、ダイナアクセルなど

### 【溶剤系】

アレスセラマイルド、セラMレタン、セラMシリコンⅢ、セラMフッソ など

## 施工上の注意事項

- ① 窯業系サイディングボードの無機系樹脂、光触媒処理、フッ素樹脂、シリコン樹脂など特殊な塗料で処理されている場合は適用できませんので、「アレスダイナミックシーラーマイルド」をご使用ください。
- ② ベース、硬化剤は正確に計量し、電動攪拌機を用いて、よくかき混ぜてからご使用ください。
- ③ 2液形塗料のためベース/硬化剤混合後、4時間以内で使用してください。夏場の場合は2時間程度で使用不可となります。
- ④ 塗料を厚く付けすぎるとワレが発生する場合があります。
- ⑤ 低温時(5℃以下)、多湿時(85%以上)、降雨、降雪の予想される時は、施工を避けてください。
- ⑥ 劣化が大きい場合は、下塗りを1回増し塗りしてください。
- ⑦ サイディングボードに既に反り、欠落、ワレ、変形が発生している場合には、サイディングボードを取り替える必要があります。
- ⑧ シーリング材とサイディングボードとの接合面に、剥がれ、ウキが認められる場合には、シーリング材を打ち直してください。

- ⑨ シーリング面への塗装は極力避けてください。汚染や粘着、ワレの原因となります。やむをえず塗装する場合には、ノンブリードタイプのシーリング材を用いることとし、「シープラ」または「マルチタイルコンクリートプライマー-EPO」をパインダーとして挟むことで不具合を軽減することができます。
- ⑩ 軽重モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業サイディングおよび発泡ウレタンなどを使用した壁断熱工法(高断熱型外壁)を塗り替える際、旧塗膜が溶剤系アクリルトップである場合は蓄熱や水の影響、塗装後の環境などいくつかの条件が重なることで、塗膜のふくれが生じることがあります。旧塗膜をラッカーシンナー拭きで簡単に塗膜が再溶解する場合は、下塗りに「マルチタイルコンクリートプライマー-EPO」を塗装してください。
- ⑪ 下地の状態を確認し、下塗りの吸込みが著しい場合には、再度下塗りを塗装して表面が濡れ色になることを確認してください。

## ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

- 取り扱い作業中・乾燥中とともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・防護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・スリッパ・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
- 火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
- 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
- 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
- 廃棄 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)
- 施工後の安全 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施工者に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。
- 例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

## 関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ  
www.kansai.co.jp

北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757  
東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073  
北関東 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223

東京 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935  
中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981  
大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603

中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285  
四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950  
九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

\*本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご承知ください。

(23年06月07日PKO) カタログNo.856